

月刊



平成24年12月1日発行 通巻203号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・まちづくり委員会 高校生の「建築甲子園」滋賀県予選報告…………… 2
- ・まちづくり委員会 第4回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展と第6回「建築士」フェスティバルのお知らせ
- ・青年委員会 第20回地域実践活動発表会 近畿あーきてくと2013 地域力～創造するコミュニティー～…………… 3
- ・青年委員会 あーき塾2013 『(仮)わさび臭気発生装置付住宅用火災警報器 講演会』予告!
- ・機関誌「家」特別委員会 フォトコン作品募集…………… 4
- ・機関誌「家」特別委員会 機関誌「家」2013号「会員の声」原稿募集
- ・継続能力開発委員会 CPD認定プログラム情報
- ・女性委員会 DoシリーズNo63 「自然エネルギーによるまちづくり」見学研修旅行…………… 5
- ・女性委員会 平成24年度 近畿建築士会協議会 女性部会 合同見学会報告
- ・青年委員会 あーき塾2012 「風景をつくる素材と技」シリーズ『庭』事業報告…………… 6
- ・青年委員会 家族親睦旅行 報告
- ・12月の暦
- ・アイ・湖国びと…………… 7
- ・地区だより…………… 8
 甲賀地区 湖北地区 湖西滋賀地区
- ・西澤政男氏が文部科学大臣賞を受章
- ・足のむくま 近江再発見 第3回



日牟禮八幡宮

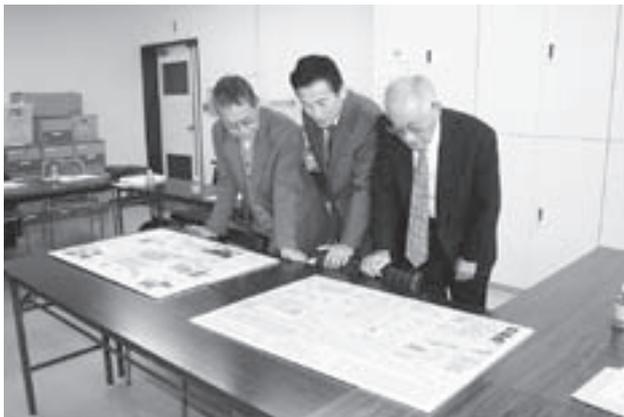
伝承によれば、131年、成務天皇が高穴穂の宮に即位の時、武内宿禰に命じてこの地に大嶋大神を祀ったのが草創とされている（この大嶋大神を祀ったのが、現在の大嶋神社奥津嶋神社なのか、境内社の大嶋神社なのかは定かではない）。275年、応神天皇が奥津嶋神社から還幸の時、社の近辺に御座所が設けられ休憩した。その後、その仮屋跡に日輪の形を2つ見るといふ不思議な現象があり、祠を建て、日群之社八幡宮と名付けられたという。691年、藤原不比等が参拝し、詠んだ和歌に因んで比牟禮社と改められたと云われる（「天降り」の神の誕生の八幡かも ひむれの社になびく白雲）。

また、近年では地元有名菓子店が参道に面して出店したり、映画、TVドラマのロケに使用されたりと賑わいを見せている。
 （伝承部分：ウィキペディアより抜粋）

今回は、滋賀県立八幡工業高等学校、滋賀県立安曇川高等学校の2校の応募があり、去る平成24年11月22日審査会を開催し、慎重審議の結果、安曇川高校の作品「外来魚。」が県予選優勝となり全国大会に推薦することになりました。

滋賀県立安曇川高等学校は、第1回の「建築甲子園」大会で全国優勝、第2回は準優勝という快挙を成し遂げた。これは、滋賀県建築士会にとっても何物にも変えがたい荣誉であり、誇りである。

今回第3回応募作品も両作品とも素晴らしい作品であり、本会より推薦した作品も全国大会においても優秀な成績を期待するところである。



第4回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展と 第6回「建築士」フェスティバルのお知らせ

県内幼稚園の方々、各関係者の皆様にご協力いただき、ご好評いただいている「未来の家」「未来のまち」子供立体作品展も、第4回を開催させて頂くこととなりました。

今回も、イオンモール草津店 イオンホールにて開催いたします。

また、今回は第6回「建築士」フェスティバルも同時開催とし、より一層、滋賀県民の皆様に、(公社)滋賀県建築士会の存在をアピールすると共に建築士の役割を知って頂きたいと思えます。

第4回「未来の家」「未来のまち」 子ども立体作品展

平成25年2月2日(土)～3日(日)
午前10:00から午後5:00まで
イオンモール草津店 イオンホール(2階ダイソー横)



第6回「建築士」フェスティバル

平成25年2月2日(土)
午前10:00～午後3:30まで
イオンモール草津店 セントラルコート



第20回地域実践活動発表会近畿あーきてくと2013
地域力 ～創造するコミュニティー～

平成6年度より開催しております地域実績活動発表会も今回で20回目という記念の回を迎えようとしています。
本年度は「地域力」をテーマに、近畿2府4県での様々な地域実績活動をご紹介しますと共に、京都大学の門内輝行氏にご講演頂きます。地域や人に建築・建築士が出来る事は何か…一緒に考えてみませんか。発表会後には講師・発表者の方々と交流パーティも開催致します。

- 【日 時】平成25年2月9日(土) 13:00～17:30 (12:30開場)
- 【会 場】大阪府健保会館 大阪府中央区和泉町2-1-11
- 【参加費】500円(資料代)～学生無料～
- 【CPD】5単位
- 【講演】門内輝行氏(京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授)
- 【交流パーティ】18:00～20:00(参加費5,000円)(学生3,000円)

第20回 地域実践活動発表会 近畿アーキテクト参加申込書 H25.2.9(土)			
会員/会員外	お名前	連絡先TEL(当日連絡用)	交流パーティー
会 員・会員外			参加・不参加
会 員・会員外			参加・不参加
会 員・会員外			参加・不参加

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

あーき塾2013 『(仮)わさび臭気発生装置付
住宅用火災警報器 講演会』 予告!

青年委員会では、次の「あーき塾」としまして、滋賀医科大学の今井 眞 氏による『(仮)わさび臭気発生装置付住宅用火災警報器 講演会』を企画・準備しております。

今井 眞 氏は、2011年度『わさび臭気発生装置付 住宅用火災警報器』の開発により、「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して与えられる『イグ・ノーベル賞(化学賞)』を受賞されています。開発における柔軟な発想や、思いをお話しして頂く予定です。

また、住宅用火災警報器の設置義務やその必要性・維持管理等について再確認し、建築士として住宅火災被害の減少に努める為の一助としたいと思っております。

次号以降の案内にご期待ください!

- 【開催予定日時】平成25年2月13日(水) 19:00 開始
- 【予 定 会 場】大津市ふれあいプラザ 大会議室
滋賀県大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津 5階
- 【予 定 定 員】50名
- 【予定CPD単位】2単位
- 【申 込 方 法】家1月号・2月号にて、詳しく案内をさせていただきますので、お楽しみに!

フォトコン作品募集

(公社) 滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。
 会員のみならずの自慢の作品をお待ちしております。



2012年大賞
 「日のおたる場所」

作品のテーマ 「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)
「祭り」

応募資格 特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可、作品は未発表のものに限ります。
 また撮影時期、応募点数は問いません。
 (今回に限り、電子データによる応募も受け付けます。ただし、その場合は印刷等すべてお任せとなります。応募点数は1点のみです。)

表彰 *大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間 平成24年11月~12月

審査 イオンモール草津にて展示し、一般の人の投票によります。

発表 平成25年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
 (<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 11月号の応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(公社) 滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にてお送りください。(必要事項を記入したメールによる応募も受け付けます。)

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
 (公社) 滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

- 応募細則**
1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
 2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手(500円分)を同封頂ければ返却いたします。
 3. 応募票に記載された個人情報、当コンテスト以外には使用いたしません。
 4. 応募は会員・一般とさせていただきます。

主催団体 公益社団法人滋賀県建築士会

機関誌「家」2013号「会員の声」原稿募集

機関誌「家」2013年号に掲載します『会員の声』の原稿を募集いたします。

日常業務や社会のこと、趣味や家族など内容は問いません。写真・資料等を含む1600字程度で原稿をお寄せください。
 詳しくは、(公社) 滋賀県建築士会事務局までお問い合わせください。

CPD認定プログラム情報

全国の最新のCPD認定プログラム情報については(公社) 日本建築士会連合会 ホームページ「CPD制度」より、確認していただくことができます。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

講演を聞くだけじゃわからない…

行って・見て・触れて・その場で話を聞いてみませんか

9月12日「自然エネルギーによるまちづくり」をテーマに、高知県梼原町長 中越武義氏による講演会が（公社）滋賀県建築士会によって開催されました。

会員・非会員問わず大勢の方が参加され、感銘を受けられた方も多いと思います。

女性委員会では、[雲の上の町 高知県梼原町](#)へ見学研修旅行を企画しました。

もちろん 中越前町長による案内付です。

私たちの身近な資源（水・風・光・木）を利用したまちづくりを、体験学習してみませんか？

■ 見学予定地

- ・梼原町にあるわずか6mの川の落差を利用した「小電力発電」、太陽光発電、風力発電
- ・地熱を利用した「雲の上プール」
- ・木質バイオマス地域循環モデル事業プロジェクト ハウス視察
- ・隈研吾設計「梼原総合庁舎」「雲の上ギャラリー」「まちのえき『ゆすはら』」

■ 決定事項

日 程：平成25年3月2日(土)～3日(日)

行 き 先：高知県梼原町

募集人員：25名（会員・会員外・男女問わず）

参 加 費：会員：25,000円 会員外：35,000円（参加人数により多少の増減あり）



女性部会 DoシリーズNo.63 「自然エネルギーによるまちづくり」見学研修旅行 H25.3.2～3（土・日）

会員／会員外	お 名 前	連絡先TEL（当日連絡用）	宿泊希望
会 員・会員外			シングル・ツイン
会 員・会員外			シングル・ツイン

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局〈FAX.077-523-1602〉（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

女性委員会

平成24年度 近畿建築士会協議会女性部会 合同見学会報告 2012.11.12

本年の近建女は、和歌山市加太で開催され、滋賀県からは、4名の会員が参加し、総数70名の建築士が一堂に会しました。午前中は、休暇村紀州加太の会場で和歌山大学本多友常教授による高野口小学校の改修についての講演がありました。

町議会での建て替え決定から10年の変遷を経て、復原さらに改修という形に行き着いたそうです。その長い経過の中で、耐震性の実証実験や、行政、近隣住民、教育現場の方たち、生徒、卒業生、保護者等との話し合いを重ね、各々の立場からの多様な意見を〈見える化〉することで、立ち返るべき全員の合意による一つの指標が形成されたそうです。そのことが、改修工事の着工段階に於いても有効に機能したのでしょうか。今後、更に改修という事態になった時にもそれは、とても重要な指標となるのではないかと思います。

午後は、加太港より船で20分程の友ヶ島に渡り、「友ヶ島砲台群」の合同見学会に参加しました。紀淡海峡の海は澄みわたり、秋晴れの紀州を満喫することができました。

(M. N)



友ヶ島第三砲台跡見学

青年委員会は去る11月17日(土)に、あーき塾2012「風景をつくる素材と技シリーズ『庭』」と題し、講演会を開催しました。

講師に京都の作庭家 小川 勝先 章生をお招きし、作庭にかける思い、お庭に対するプロから見たイメージ等を熱く語って頂き、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

小川先生は年齢的に青年委員会と近く、どんな話が聞けるのだろうと楽しみにしていましたが、作庭にかける思いは熱く、我々建築士もさらに頑張らないと、という思いに駆られました。また、仕事に対する心構えなどは、建築の仕事をしていく上でも共感する部分が多かったと思いました。

小川先生のますますのご活躍を期待します。

また会場には会員をはじめ、会員外の方にも多数ご来場頂きありがとうございます。今後ともさらに新しい企画を準備していきたいと思っておりますので、次回のあーき塾にも沢山の方にご参加頂ければと思います。

去る11月4日(日)、毎年恒例の青年委員会主催家族親睦旅行を開催致しました。募集を始めて早々に定員オーバーとなり、満席のバスで行ってまいりました。今回もたくさんの子供達でにぎやかな車中となりました。

まずは、日清食品のインスタントラーメン発明記念館にて、オリジナルのインスタントラーメン作りを体験しました。思い思いにカップに絵を描いて、味付けや具の組み合わせを工夫して、世界に一つしかない貴重な思い出を作ることができました。大変混み合っていましたので、じっくりと作る時間は無かったのが残念でしたが…。

お昼ご飯は三田牛のバーベキュー。採れたての椎茸と共に、皆でワイワイと楽しく親睦を深めました。

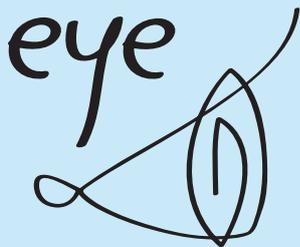
午後は旧九鬼邸を見学しました。ボランティアガイドさんに丁寧に案内をいただき、大変勉強になりました。最後は、三田アウトレットモールにてお買い物。短い時間でしたが、それぞれにショッピングを楽しみました。帰りのバスでは、お楽しみのビンゴゲーム。交通渋滞の中でしたが、退屈せずに帰ってこれました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



12月の暦

1	土	先負	近畿建築祭(奈良)	11	火	先勝		22	土	友引	
2	日	仏滅		12	水	友引	四役、理事会	23	日	先負	
3	月	大安		13	木	大安		24	月	仏滅	
4	火	赤口		14	金	赤口		25	火	大安	
5	水	先勝	第3期 所属建築士定期講習、 地域貢献活動センター委員会	15	土	先勝	青年委員会 研修旅行	26	水	赤口	
6	木	友引	二級・木造建築士試験 発表予定	16	日	友引	青年委員会 研修旅行	27	木	先勝	
7	金	先負		17	月	先負	五団体長会議	28	金	友引	
8	土	仏滅	青年委員会	18	火	仏滅		29	土	先負	
9	日	大安		19	水	大安		30	日	仏滅	
10	月	赤口		20	木	赤口	一級建築士試験 発表予定	31	月	大安	
				21	金	先勝					



— アイ・湖国びとの愛情視線 —

針江生水の郷委員会 相談役

第13回 山川 悟さん (63)

心を清める生水の美しさ



やまかわ さとる
山川 悟さん

1934年旧高島郡新旭町針江生まれ。数学教師として県立高校に勤務。定年後は地元の活動に力を注ぐ。

高島市新旭町では地下から湧き出る水を「生水（しょうず）」と呼び、古くから生活用水として使ってきた。家々にはその生水を使うための川端（かばた）という場所があり、年間を通じて野菜を冷やしたり食器を洗ったり頻繁に活用する。使い終わった水は水路を通して針江大川に集まり、琵琶湖に注ぐ。集落に張り巡らされた水路は鯉やヨシノボリ、ドンコなど様々な生き物の住処でもあり、水をきれいにする役目も果たしている。

川端に代表されるこの水文化は2004年、写真家今森光彦氏の指揮で制作されたNHKのドキュメンタリー番組「映像詩 里山～命めぐる水辺～」で紹介され、一躍全国の注目を浴びることとなった。「ここに暮らす者には当たり前だった光景が、自然と共存する貴重な仕組みであることに気付

かされました。夏になると飛び回るオニヤンマや、すくっておかずになっていたゴリの群れがどこでどんな風に孵っていたのか、子どもの頃から身近だった生き物の謎も知ることができ、感動しました」



山川さんの自宅にある川端

県内外からやって来る見学者に対応するため地元有志で「針江生水の郷委員会」を結成。当初からのメンバーとして活動し、今は相談役を務める。「地元の人たちの日常生活を守りながらも、関心をもって訪れた人たちに針江の水文化の素晴らしさを知ってもらえたらという思いで活動しています。国内はもとより、海外からの見学者もあって通訳を介して説明することもあります。熱心に聞いてくれるみなさんを前にすると、ついおしゃべりになります。水を巡って感動される様子に触れることで私たちも感動する。その繰り返しです」と出会いの喜びを感じている。

今年の夏、東大阪市立菱屋西小学校の5、6年生が見学に来て。事前学習としてNHKの番組を見ていた子どもたちは、山川さんら針江の人々を“自然を守る本気人”と呼んだ。「そんな風に見えたのかと照れると同時に、改めて責任を実感しました」。川端を見学し、針江大川で水遊びを満喫した子どもたちは、学校に帰って自分たちも何か

水とつながることが出来ないかと考えて小学校横の溝を掃除したりピオトープを作ったりした。その発表には山川さんも招待された。

2010年秋、高校生を対象にした設計競技「建築甲子園」（日本建築士会連合会主催）で、県立安曇川高校の生徒による川端をテーマにした建物プランが優勝に輝いたのを受け、実際に地元で建ててはどうかという話も出ている。

「関心を持ち、感動したことをそこで終わらせず、行動や形で表すことが出来る若い力に感動すると同時に、透明な生水の美しさは見た人の心を清らかにしていく力があるんだなと感じています」



全国各地から訪れる見学者を案内するのは、地元有志でつくる針江生水の郷委員会のメンバー

(取材：M. Y)

甲賀地区

平成24年度 姫路城・書寫山圓教寺 見学研修会

甲賀地域会と甲賀地区会の合同で、11月10日に大天守の修理工事中の姫路城と西の比叡山と称される天台宗の古刹、書寫山圓教寺の見学研修会を実施いたしました。

秋晴れのすがすがしい季節の中、白亜の姫路城の屋根瓦修理はほぼ終り、現在は壁のしっくい仕上げ中の所を見学研修させて頂き、その後書寫山圓教寺へ姫路市の西北に位置し標高370mの山上にある西国霊場の27番札所として知られる重要文化財の大講堂、食堂そして摩尼殿を見学させて頂きました。最後は京都二条高瀬川の京料理で親睦を深め、秋の一日意義深い見学研修会となりました。



湖北地区

平成24年度第2回講習会を開催

11月17日(土)9:00~16:00 建設業協会長浜支部会議室に於きまして「コンクリート技術講習会」と題して講習会を長浜施工管理技士会と共催でおこないました。

コンクリートの基本的な取り扱いから材料特性、配合、試験、問題点、品質確保、JIS規格などの内容を勉強しました。



またコンクリート技術の他にも建設業法における工事現場の技術者制度や総合評価方式の概要についても勉強しました。

長時間の講習お疲れさまでした。

湖西滋賀地区

平成24年度 湖西滋賀地域会見学研修旅行

10月13日(土)早朝に、JR堅田駅を出発、往路はびわ湖大橋を渡って湖周道路で彦根経由高速に乗り、郡上八幡の散策に向かいました。

清んだ秋空の好天に恵まれ、一日楽しく過ごしました。当地域会は会員数が極端に少なく、会員ならびに家族、会員の知人の参加を可とする参加呼びかけをして、総勢40名での旅行でした。

土曜日とはいえ、紅葉にはもう少し早く、かえってそれが幸いして、街中の散策も、人出が普段の7割くらいということで、ゆったりと余裕のある見学ができました。

それでも名水で名を馳せているだけに、水飲み場のようなところは、行列ができていました。毎夏子供の飛び込み風景が、必ずテレビニュースのひとコマになる吉田川の橋。また町中が、日本のよき風情を残したまま、この町から一步も出ないで日常生活できるくらい床屋から雑貨屋、洋服屋等々のお店。住宅と地元のお店がそれとなく並んでいるのに驚きました。

シャッターの降りた商店は皆無です。街並みも歯抜けにはなっていません。静謐な中に日々の生活が息づいて、妙にこの町に郷愁を感じました。

(T. N)



彦根地区・彦根地域会会員

西澤政男氏が文部科学大臣賞を受章

このたび、本会彦根地区・彦根地域会会員の西澤政男氏が、文化財建造物の保存・修理技術の継承に尽力された功績により平成24年度の地域文化功労者に選ばれ文部科学大臣賞を受章されました。西澤氏は本会会員として木造伝統技術の研鑽と技術伝承の分野においてご活躍されると共に、文化財修理技術保存連盟理事長として後進の指導、育成にあたられておられます。

今後ますますのご活躍と後輩建築士へのご指導をお願いいたします。



足のむくまま 近江再発見

八幡瓦(瓦ミュージアム)

日牟禮八幡宮のすぐ脇に八幡堀があり、その堀沿いには瓦製造工場が並んでいた。昭和15年の資料によると八幡瓦は本町の重要工産物の一にして、製造戸数十五戸、職工数合計凡そ百名、年産約百六十餘萬個十数万圓の巨額に上り、当時の綿帆布、製菓業に次ぐものであったとのこと。

その堀沿いにある「瓦ミュージアム」では瓦の歴史や製造工程を見ることができる。八幡瓦の起源についてであるが、現在のところ最も有力な説は、当地に所在する「本願寺八幡別院」の屋根葺き工事に伴い、京都深草より瓦工が移住したというものである。これは、文政10(1827)年成立と考えられる「寺本家過去帳」後書きに記されているもので、この寺本家は長く八幡瓦を製造する家々の中心的存在であり、寺本家から八幡瓦生産が始まったといわれている。

したがって寺本家の当地への移住・瓦生産開始が、八幡瓦の起源とされる。
(協業組合 八幡瓦製作所ホームページより抜粋)



瓦ミュージアム